

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（常陽）の新
規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和3年12月8日（水）11時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、江崎企画調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門 小舞管理官補佐

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 建設部 次長 他4名※

同 高速実験炉部 部長 他2名※

同 安全・核セキュリティ統括

安全・核セキュリティ推進室 技術主幹※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・当日資料：大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）審査会合コメントリスト
- ・再提出資料＜本年12月13日受領（本面談コメントを踏まえた修正版）＞：大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）審査会合コメントリスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁の岩田ですお疲れ様です。JAの方はメンバーそろってますか。
0:00:13	JA建設部ですが、こちらのメンバーそろっておりますよろしく願いいたします。
0:00:19	はい。そうしたら今からですね前回の審査会合のラップアップを回避したいと思います。コメントについてはですねすでにもらっているますので、こちらのほうから阻止発言しましょうか。
0:00:35	じゃあそのようにさせていただきますんでよろしいですね。はい。
0:00:41	えっとですね。規制庁エザキですか。ナンバー22のコメントなんですけど、基本的に言うんですねちょっと若干我々が
0:00:51	指摘してるってコメントした出資等、ちょっと数が多少ずれがあると思っています。
0:00:58	それで、今書かれているのは、抑止杭による地盤
0:01:04	帰りをを用いる場合以下について検討を行い、抑止杭の成立性を説明することになってますけど、まあそういうこと求めてるわけではなくて、
0:01:14	あくまでも我々が言ってんのは、
0:01:17	もう
0:01:18	私が私が区画として並べどっかかっていうことで述べさせていただくと、まず出だしのところが、まず抑止杭工法による地盤改良を用いる場合一緒なんですけど。
0:01:32	次にですね、以下の観点。
0:01:36	で、以下の観点から、
0:01:39	翌週以降法による山頂1項への適合性を説明すること。
0:01:45	ということなんですよ。
0:01:47	若干ニュアンスが違うんですよね。
0:01:51	まず片括弧1、
0:01:54	についても、そうするとですね、書き方が変わってきて、
0:01:58	基準地震動による地震力に対しては県中の決しないこと、ここまで一緒ですね。
0:02:06	そのあと帰っていただきたいのは、について引用文献の適用性、
0:02:11	ここも適用性という観点でそう適合性があるんですかっていう
0:02:16	問いかけです。
0:02:18	両括弧2に関しては、
0:02:22	くい根入れ部の周辺地盤の破壊領域を踏まえた領域によりここまで一緒ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	その次が杭の支持政党を期待できることの根拠とその妥当性、こういう観点で適用性があるんですかって聞いてるんですよ。
0:02:43	で、
0:02:44	両括弧 3 は、
0:02:45	他サイトでの抑止杭
0:02:49	広報と。
0:02:50	地盤地形、
0:02:52	併用工法がここまでですね。
0:02:55	次から異なることを踏まえても、
0:02:59	同様の抑止杭効果が期待できる。
0:03:04	そうしたことの根拠。
0:03:06	ということですね、こういう本許可から観点から含めて適用性はあるんですか。
0:03:13	適応性があるんですかっていうことですね。
0:03:16	小学校 4 が、
0:03:19	千鳥はい。
0:03:20	大別(2)熱の抑止杭を 1 列に集約してモデル化すること。
0:03:28	そのっていうとここまで一緒ですね、そのあとが、
0:03:32	根拠とその妥当性
0:03:34	そうですね。
0:03:36	また、
0:03:38	これは抜けてるんですけど、抑止杭を平面ひずみ状態の梁要素にモデル化することの
0:03:44	根拠とその妥当性入ってるわかりますよね、これもしっかり
0:03:48	述べさせてもらってるんですが、
0:03:52	今、これはそんなに大きな話はないと思いますけどもそのモデル化の妥当性としてですね。
0:03:57	いわゆる
0:03:58	抑止杭はくい感覚で
0:04:03	ある一定の区域拡大してるんですが、一つの溶液のように、一つの壁としてモデル化してるんですよ。フラッシュの中では、それを平面ひずみ状態っていいます。
0:04:14	正式名称だと、要は平面ひずみ状態のはり要素のモデル化してますので、多分それは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:23	そう滑り土塊等が吹く以下の間も進む中抜けしないですね杭に全部一定として関わってるっていう意味合いだと思うんですけど、そういった考え方の仮定とかですね。
0:04:34	どういう過程に基づいて今もそのモデル化しているかをちゃんと
0:04:39	説明してくださいっていうことですね。また書きのことは、
0:04:43	今一連のの場所を述べさせていただいた行為に関してですね。
0:04:50	設置趣旨を踏まえて整理していただきたいんですが、
0:04:55	そちらの方から質問等ありますか、聞き取れなかったとか、
0:05:00	わからなかったことがあれば、今言っていたきたいんですが、よろしいでしょうか。
0:05:09	JA建設部の中西でございますが、先ほど浅井が千鳥配列などの抑止ぐいを平面ひずみ要素でって言われているのは、最終的なこの(1)の中の系ということがしないという前提条件でもって二次元の平面組要素の中で、
0:05:27	福祉はビーム要素としてモデル化できるとそういうものとリンクするような、多分、来等でイメージされてるということでよろしいでしょうか。
0:05:39	基本的に言うんですけどねそういう前提条件でそういうモデル化してるかっていうのはわかっていますがそういった課程も踏まえて、何と戻るか谷がリンクしてるかっていうことと、実際に
0:05:52	どのような考えにもとにしてですね前提に立ってですね、モデル化してるかっていうのは詳しく述べてくださいというですね、駄目だっつってるわけじゃなくて、
0:06:03	その辺があまり記載がされてませんよねっていうことだけです。
0:06:09	了解しましたMそもそもがこの2列の抑止杭を1列に集約してったのはもうすでに2回ヒアリングで私の見解を述べさせていただいてますよね。それによつては、地盤のひずみが変わるでしょうから、ひずみが変われば、
0:06:26	杭の応力も多少局部によって変わってくるでしょう。
0:06:30	特に
0:06:33	分を
0:06:35	地震の向きによって変わるでしょうけれども、
0:06:38	地震の向きで一番最初に力が伝搬される前です。それはそちらの列と言い切れないんですけど、地震が左右交番で動く
0:06:48	条件下ではですね、データそこにおいては、多分、
0:06:52	うん。
0:06:53	2列配置のうち1節のほうに応力が集中しちゃうっていうのはわかると思うんですよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:00	そういったことも考えたときにそれを平均化していいんですかっていうことだと思うんですよね。
0:07:06	最低限わかります。だから、滑り安定性からすると、もう合計値ででしょ文書で滑り安定性としてはそうは見えてこないんですけど、実際にそう杭としては十分な抑止効果を発揮できるというような
0:07:21	国の
0:07:23	剛性だとか、だめ性能は持っているんでしょうかってことだと思うんですねそれはある程度精緻にやらないとまずいですよねっとそれでもところ三条1項でやるのであれば、
0:07:34	設置許可でその妥当性も含めて確認しなきゃいけなくなりますので、工認先送りっていうわけにはいかないわけです。
0:07:41	そうしたときに、そうしたことも含めてちゃんと精緻なアズイズの状態がどういう状態なのか。
0:07:48	それで、基本的に滑り安定性の観点だけじゃなくてその行動抑止杭としての性能が発揮できるような杭をとが配置されているかどうか、使用含めてですね、それは説明が必要になってくるんだと思います。
0:08:03	そういう趣旨で話してます。
0:08:05	ただし、これで最初に言ったように、そちらのほうでは、その妥当性の確認とかそういうのが多いんですけど。
0:08:13	そういうことではなくて、そちらがもうお答えになられてるように、ある程度併用工法もしくは地盤改良の方に気持ちはシフトしているというお話もされています。そうしたときにですねこれ確認するとかですねそういうことになっていると。
0:08:28	いわゆるね答えを出さなきゃいけない。
0:08:31	いわゆる後方ををを抜本的に変えられるかもしれないですよ。そこは京極多少聞いてもいいのかなと思っていますがそうすると、この
0:08:42	問いかけ枠集合になりますんで、そうしたときにもちゃんと答えられるように、我々としては、トイレを問いかけをしているわけなんで、そこをちょっと書き換えてちゃうと、実際には使わないものを
0:08:56	広報に関して詳細に述べなきゃいけないっていうと矛盾が出てきますので、
0:09:00	こういうのは今お話をさせていただいているわけですが、
0:09:05	ご理解いただけただけでしょうか。
0:09:10	JA建設部の中西です。理解いたしました。
0:09:15	で、一度介護で確認はしていますが、エザキですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:20	基本的には地盤改良等も含めて検討されていくっていうふうに理解して、今こう述べさせていただいてますが、その理解でよろしかったでしょうか。
0:09:34	建設部ナカニシでございます。今審査会合の資料で言いますと比較表がありまして左から三つ目の周辺地盤改良ですね、こちらを今
0:09:50	シェアに入れてその際に、は材料としては、今置換コンクリートと書いてますが、その他あのやり方としては、高圧噴射等の広報ですね、そちらも視野に入れて検討をしております。
0:10:06	周辺地盤改良をいいんで、作業予定ということで、今あの見直しですから、かけてるところです。
0:10:20	規制庁のエザキです。今のお話でちょっと再度理解できました。それですね、今後の予定になっていくんですが、会合では大体1月目途に、
0:10:32	一つの回答のされるっていうふうに我々認識しているんですが、そうは中ではですね、どの範囲ぐらいまで、その1月つうのですねヒアリングで聞かせていただけるかっていうのは、
0:10:46	方向性をちょっとお聞かせていただきたいんですが、
0:10:49	よろしいでしょうか。それは目途だけ何でそれが間に合わなければ致し方ないと考えますので、今、どのようなスケジュール感で動いてるかって言うだけお聞かせていただければと思いますが、
0:11:06	JA建設部ナカニシでございます。1月のつうの審査会合に向けてというところでの大きなところで言うと地盤改良工法のその工法の見直し方針の見直しになりますので、
0:11:21	そこの大きなところを機構としては見直すということを宣言するというのを会合で行いたいと、その際には時主任地盤改良、ここにいいの改良強度と改良範囲ですね。
0:11:37	こういうような形で考慮することで、従前の滑り安全率が播州万の時.3というものに対して評価基準値を満足するイワタ成立性があるというのを示していきたいと思ってます。
0:11:54	その際に補強前の滑り評価で厳しいPDSSDで成立性を確認させていただいて、見通しがありますということを1月中に示していくような形で考えています、
0:12:09	それ以外の地震動につきましては、今日なの。
0:12:17	そのあとで時出していくというそういう形でまず補強の成立性等広報見直しの考え方というの1月に議論したいと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:31	規制庁面だけですが、今の話で十分理解できましたところですね、ヒアリングではないんですがちょっと前倒しさせて言わせていただくとう気をつけて類似事項としてとらえていただければいいんですけども。
0:12:47	いわゆる不納新たにその地盤物性として改良地盤と置換コンクリートの場合はコンクリートだけですから、それはもう地盤調査は要らないんだと思います。
0:12:57	通常ですね、例えば地盤改良をなさる場合ですね、例えば女川まだ工認ん。
0:13:04	まだ終わっていないんですが、まだ審査中ですからほぼ終盤に来ていて、その辺のものに関しては工認でのですね会合である程度上げていますし、または東北電力さんに聞きになれることも可能かと思えます。
0:13:21	もう一つ地盤改良したしているサイトとしては、柏崎がクローズアップされていますが、そういったところですね先行サイトを見ていただいて、どのようにな形で
0:13:36	地盤物性を定めるか動的物性とかですね、いわゆる設置許可ではどう定めるのか、そこでもし、全部試験が終わらないとしたならば、
0:13:48	どうするのかとかですねいろいろパターンがあります。
0:13:52	今まで高浜なんかは下手すると、使用前検査定期確認ということとすると思うんですが、
0:13:59	実際にはその施行後に、実際検査的にですね、その地盤改良の
0:14:07	品質確認とするますからそれはもうどちらかという工認マターになるんで、設置許可では不要になると思いますが、ただ、その許可で使う物性値はどうするかということもですね各社から聞いていただいたほうがよろしいかなと思いますんで。
0:14:25	いろいろやり方がありますその先送りするパターンと、公共の中で全部収束させてしまうパターンと、
0:14:32	そういったことがありますのでちょっと東北電力さんとか東京電力さんどこにお聞き慣れられるかはあれですけども、
0:14:41	少なくともと柏崎に関してはもう7号機の高に思ってますので許可、工認見ていただくと、あそこも液状化が問題になって地盤改良っていう話でいくことはちょっと毛色が違うんですが、
0:14:55	今、そういった地盤改良に対してどのようなアプローチをしているかっていうのは、参考になると思いますのでその辺はですね、お調べになるんなり、または、
0:15:04	先行サイトの申請者に聞くなりですね、ちょっとその辺は情報を入手していただけると参考なると思いますんでよろしく願います。私から以上です。
0:15:19	ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:20	イソダて引き受けてくれるナカニシですが、今後のスケジュールについて補足なんですけど1月末に審査会合マツスエ今の先ほど言いました内容で進めていくに当たりまして一同ですね12月の
0:15:36	中にですね、ちょっとこちらの広報の見直しの考え方とかですね、そういうところをしろヒアリングさせていただいて、もう一応1月に入ってヒアリングしていただくかせていただいて、
0:15:51	心配を1月末というような流れを考えてまして、12月中にこちらのほうで考えた方針等の地盤改良工法ですね、周辺地盤改良の候補について概要のほうをまとめたいと思いますのでそちらを一度ヒアリングで、
0:16:10	日ちょっと確認いただけると何かと、こちらでは考えております。
0:16:19	はい。規制庁の岩田です。ヒアリングさへのすることは一向に構いませんが、ヒアリングの場ですねその後方のヨシダ費とかということ判断する場ではないのであくまで審査会合ですね、議論するということになろうかと思っておりますので、ヘディングをやるのであればその方向性についてこういう考え方です。
0:16:37	審査会合にはこういうネタ元の計算をした結果も踏まえ含めてですね出しますというそういう資料構成全般の話であればですね、我々のその何が足りない、何を確認しなきゃいけないということでヒアリングでできますので、そういう観点で資料をまとめていただければヒアリングすることは構わないと思っております。以上です。
0:17:04	JA建設部の中西です。了解しました。また資料のほうを作成しまして、改めてアポイントの方法取らせていただければと思います。
0:17:16	はい、よろしく申し上げます。時私からも先ほどのイソザキのほうから話があったですね許可の段階で何を書くのかとかですね、ご存知の通り、皆さんはもともと研究など設工認ということで、工事の方法についてもですね認可対象になっているはずなので、実炉ではちょっと違ったアプローチかもしれませんが、
0:17:35	工事の方法に何を書くとかですね、許可の段階でどういうことを約束した上で、実際の管理をどうどういうふうにするのかということも触れといていただく必要があるかと思っています。その際に先ほどもありましたけれども物性値についてはですね、例えば一軸圧縮強度を使っているのかとかですね、室内物理試験の結果を使うとか、多分いろんな、
0:17:55	従って、あとその結果を大体想像した上でこういう物性値使えますということについては多分使用前検査の対象に当然なるので、あそこまでですね。見据えた上でですね、今日の評価という所っていうんですかね、表の申請書の形をイメージしておいていただければと思います。私からは以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:17	JA建設部のナカニシですが、趣旨理解しました。ちょっと細かい話になるんですが、今検討中の段階としましては、高圧噴射をベースにした場合は一般的な広報で
0:18:34	さ湿度であれば圧縮の一軸強度で3ニュートンですかね、前段であると5分の1ぐらいになりますので、0.62mm以上程度の共同設定を考えてそれに対しての改良範囲ですね。
0:18:49	1.5の滑り安全率を満足するための共同と改良範囲のセットっていうのを基本設計段階の設効果の設置許可である意味よ条件として、異なって滑りライン三条の1項の滑りが
0:19:05	満足するという評価をしていきたいと考えています。その後実施設計施工二段階では、具体的に現地の配合試験を行ってその定めた共同な発言できるようなセメント量投資を定めて、
0:19:23	ませて工認段階、その後の検査において、
0:19:28	想定した強度が確保されることと、地盤の改良体が充填されていることっていうのを確認すると、そういうふうな流れで許認可の交代をしていきたいと考えています。
0:19:43	はい、わかりました。それについてもですね今後
0:19:48	はい。
0:19:48	審査の中で確認していくんですかね、申請書の書きぶりについてはお示しいただければと思います。そのうちの課にナガイさん。
0:19:57	規制とナガイですけれどもままで大きく2点ありまして先ほど時の方で修正されたところもありますけども、地盤例説明戦略が成立性ということはちょっとそこはないと思います。これ構造物とかに対して使うもので、
0:20:12	地盤をやっぱ適合性という言葉はのほうは適切だと思いますので、二重に掛けて23も、そこは適正化を図ってください。
0:20:22	あともう一つ大きくは今回の1ページから2ページにかけてのところで前回の会合でコメントしたからってグレーハッチングされてますけども、これすべてコメント回答できているわけではないので、グレーハッチング数というのは認識非常にずれていると思います。
0:20:39	そのあたりは適切にやるのですね、今後つくって改めて回答するのか、今回、
0:20:48	よくよくしのいとかで地盤高。
0:20:52	改良して施設としてエントリーする前提で指摘したものもあるので、そういう変更によって回答ができなくなったものは明確な回答はできないということを書いた上で消すという、ちゃんと整理をしてください。
0:21:09	1例を挙げれば、8番ですね、1ページ目の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:15	これは結局、22 が回答できないと、これは回答できないと思います。
0:21:22	これはもともと 8 番の内容は、今回の 22 番と言ったような内容を前提に、
0:21:28	言っていることなので、ただこれ前提として施設抑止が施設になっているから こういう生き方をしているので、
0:21:35	この辺りも含めてしっかり昨年の 11 月の指摘について再度整理をしてください。 よろしくをお願いします。
0:21:45	すいません規制庁の岩田です今のところを少し補足をするとですよ。すでに指 摘をしてる中身についてはですね例えば今般、例えば 22 番の中で回答します とかですね、そういうようなですね、ことをちゃんと備考に書いていただくとか、 あとは施設からその地盤に変更したんでこれについては
0:22:03	該当しなくなったとかですね、そういう整理をしてくださいという趣旨だと思います ので、そこをしっかりとめ直していただいてですね、再度提出をしていただ ければと思います。お願いします。
0:22:16	建設のナカニシです。
0:22:18	その趣旨を理解しました。修正するようにいたします。
0:22:28	こちらからはですね大体こんなところですがJAから確認しておきたいこととか あればですね、お願いいたします。
0:22:36	減少高セシモですが、別途コメント 23 番に関連するところでございございます がこれは一応たり委員からいただいたコメントになります。
0:22:47	提案の今まで議論させていただいた通り抑止杭の成立性というところではいろ いろ計算的な課題とか等々は変わってきておりまして我々としては地盤改良 の方にシフトするという中で、
0:23:03	地盤改良日本にシフトした場合、
0:23:06	また何か日辺り委員の方から何か。
0:23:11	その 23 番のコメントに対して何か何かフォローはないんじゃないかみたいなそ んな
0:23:19	そんなにワースト有価仕事ありのほうから何かまた新たなコメントを出ないか なっているのはちょっと気になったんですけれども、
0:23:27	何か規制庁さんのほうで、
0:23:29	アドバイスあればお願いいたします。規制庁ですが分数はいたしません、基 本的に言うとはですね、多分、
0:23:37	うん。
0:23:38	普通の一般の例えば建築物とか、港湾の施設のくいですね、要は、支持杭な んですよ多分言われているのは多分、
0:23:49	抑止杭が例えば阪神大震災とかあの辺で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:54	あまり被害があったとかそういう細かい話で今利益として残されてないですよ ね、土木学会も地盤効果も建築を学会もですね。
0:24:05	どちらでいうと支持杭監視だと思うんです。
0:24:08	ちょっとここはちょっとその支持杭ではないということをしたということと基本的には 困われてるものって、
0:24:16	ソウルレベルⅡだとか、そういったではないですよ、かなり古いもので、
0:24:21	表精神とこま2ぐらいいて、我々の世界で言うと1.0Ciで設計された方がっかり だと協力してます土木構造物に関して言ったりすればですね。
0:24:31	そういった違いがあるので、基本的には杭としては、
0:24:38	過去の審査壊れてるところは大体杭等が壊れていてってということで、仲卸てる 場合もあります。
0:24:47	けども大体見にくい等で壊れてると思うんですよ。それはフーチングに統合結 合してるから。
0:24:53	いわゆる片持ちばりの格納槽なんですかね固定点が天井にあるっていうかい わゆるフーチング
0:25:01	フーチング結合しているところになってるんでそこ応力集中して壊れる壊れて るって話だと思うんですが、ただ、多分一つはその抑止杭等を実際的に違 うところと言えば固定点のところはある程度一緒かなという感じがしますが、
0:25:17	ただ、ここでは鋼管ぐいですよ。
0:25:22	ある程度Ssに対しても耐えるように設計しているってということが違ってくわけ で壊れてるのは大体RCCVだとか、
0:25:30	プロジェクトっていうちょっと弱いC区域が大変だと思います。あと設計の荷 重も違ってると思うんですね。
0:25:39	データ等をつくった年度がわかれば、新耐震化そうじゃないかと。
0:25:44	下手するコンマ2の世界でもそれ以下の話もありますんで、そういった話であ る程度を少し説明ができるんじゃないかなと思います。ただし最終的にはあれ ですよねそちらの方はもう抑止杭は使わなくなったんでって話が多分、
0:25:59	最後の結論だと思います。
0:26:01	5月の頭ではそんなふうに整理していますが、そちらのほうでここに関して、一 生あたりが多分言われているのは、私が言っているように阪神大震災とか 3.13.1の地震だとかで、
0:26:17	建築物だとか、あと土木構造物の杭が結構壊れてますよねと、そういったもの が観点から抑止杭は大丈夫なんだろうかっていう問いかけだと思うんですよ ね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:30	それで言うとさっき言ったように壊れたものがどういうふうな部分があるかっていう見識もあるでしょうし、抑止ぐい等。
0:26:39	一般の機器支持杭との違い。
0:26:42	あと多少言ってたと思うんですが、港湾施設の場合は、杭を例えば液状化とか、地盤を締め固めるために指名ため締め固め工法として杭をとかさ押すこありますよね、そういったところで結構壊れてるっていう話もあるからその起因してるんだと思うんですね。
0:27:00	ただそれって、港湾施設とかそういったところで、オオイですけど、基本的には土木構造物の大半が特に港湾施設は、ここで言うと、Cクラス、クラス3ですよ。だから、
0:27:14	もうレベルⅡだとか、Ssなんか起きたら壊れても致し方ないという施設で、
0:27:19	いわゆる耐震難度ジャッジ新居地震とか防災拠点化国交省と防災拠点はこっちで予定するクラスぐらいの相当に該当して、この金利ねかなり
0:27:33	強化して耐震強化してますがそれ以外は壊れても仕方ないと。
0:27:37	人の命さえ言わなきゃいいという人がそんなに出入りはしないので港湾施設っていうのは国交省の考え方だったと思います。その辺も含めてですねどう整理使ったらそれはおまかせしますけど、多分、
0:27:50	石渡が言ったのは先ほど言ったように、そういった
0:27:55	基礎杭のお話と、その規則じゃない場合も結構ありますよねと、そういった部分よく資料大丈夫なんですかっていう
0:28:03	ということを知っているの、まずよろしく抑止杭とはこういうもんでさがあるということと総務ここを足されたそう一般の産業施設が壊れているのはこういう理由でっていうのが大半だっていう話があると思いますそれと基本的にはもうよく調べましたと。
0:28:19	というのが、そちらの回答かなとは私だったら思いますけどね。以上です。
0:28:26	ありがとうございます。
0:28:40	規制庁イワタですけれども他に何かありますか。
0:28:51	建設のこちらのほうが、特にはございません。はい。規制庁イワタですわかりましたそうしましたらですね先ほどお話がありましたが、もし12月にヒアリングやるのであればですね、資料整理していただいた上で申し込んでいただければと思います。我々としてはですね、前回審査会合で1月中というお話をいただいたので、1月中に審査会合でき
0:29:11	以上にですね、準備を進めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。ラップアップについては以上にしたいと思いますので修正版につい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てはですね、また事務的にメールで送っていただいて、再度少し確認させていただいた上ですね、何かあればお伝えいたします。以上です。
0:29:29	あとございました。はい、お疲れ様でした。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。